

実技 15 「リーグ戦 1-①」

新しいチームでのリーグ戦を行います。それぞれのグループで考えた攻撃の形をゲームに生かすことを目的とします。それぞれのゲームには、前後半同じチームと対戦しますが、それぞれが独立した試合です。同じチームと2試合行うこととなります。メンバーとローテーションは必ず替わるようにしてください。

ゲームでは、見学班が心電図を取ります。ゲーム後に記録の集計・記録を行います。これを元に、次回にゲームの考察を行います。グループの課題は何かを見つけ、次回のゲームに生かします。新しいチームでリーグ戦優勝を目指しましょう。

(1) 攻撃のシステム練習

＜自分たちの攻撃の形（型）＞

- ①どんなフォーメーションで攻めるのか？（自分たちの型）
- ②4人の動きについて共通理解をする。（パスをもらったらどう動くか？ボール保持者以外の動きは？）

ここをしっかりとっておかないとただゲームをやるに過ぎなくなり、学習にはなりません。基本的な動きの共通理解を図ります。

(2) ゲーム（リーグ戦 1 節）

リーグ戦の始まりです。5分間の試合を2試合行います。前半、後半と同じチームとの対戦を2試合行います。試合ごとに、メンバーチェンジとポジションチェンジを行います。

＜本日の試合＞

	1 試合目（前半・後半）		2 試合目（前半・後半）	
対戦	1 班	対	2 班	3 班 対 4 班
審判・記録・線審	（3 班）		（4 班）	

(3) 毎回の授業の流れ

＜ゲームを行うその日の授業ですること＞

①ゲームを行い、データを取る（記録のグループが心電図を取ります。）

②ゲームの集計・記録、ゲームの流れを記述（試合後にミーティングルームで）

ゲームが終わると、心電図を見て、触球数、シュート数など、ゲームで取ったデータをまとめ、グループノートに記入します。また、ゲームの流れを文章化します。

＜次回の授業ですること＞

③ゲームの考察 心電図からグループの課題を見つけます。

自分たちのシステムは機能していたのか？個人の課題、グループとしての課題

④課題を克服するための練習

⑤次のゲーム

以下は前と同じ

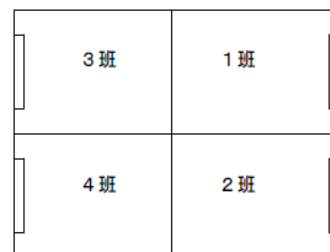
(4) ゲームの集計・記録（ミーティングルーム）

・審判のチームが記録した心電図から、全触球数（相手も）支配率、攻撃数、攻撃成功数、攻撃成功率、シュート数、シュート成功数、シュート成功率、アシスト数を出します。（心電図の記録をノートに転記）※考察は次回に行う。

・ゲームの様子について、文章表記します。（特に、得点場面を事実に基づき記入。また、ゲームの勝因なども分かれば書いておく。）

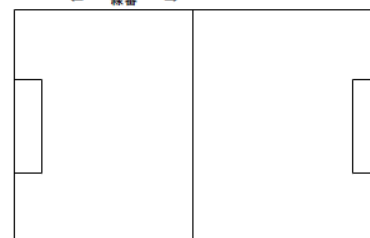
(5) 授業の振り返り

練習時



- ・練習時はフットサルのゴールを使用。それぞれの場所で練習を行う。
- ・ゲームの前に、必ず4人の攻めの形を再確認すること。

試合時



- ・アナウンス、心電図係がゲームを記録。
- ・試合では、サッカーゴールを使用。